

## 「農業・食料産業イノベーション大賞」(第4回)選考結果

2012年3月9日

「農業・食料産業イノベーション大賞」実行委員会

委員長 南石晃明(九州大学大学院農学研究院・教授)

部門	受賞者	表彰タイトル	講評
大賞	カブシキガイシャ エナ カワカミ ヤ 株式会社 恵那川上屋	超特選恵那栗 生産振興による 菓子ビジネスの 展開	生産者の自主基準により生産出荷された栗の全量買取制度や農業生産法人「有限会社恵那栗」設立による耕作放棄農地活用等などにより、「超特選恵那栗」の維持拡大や品質向上など生産振興を行うと共に、「超特選恵那栗」を用いた菓子ビジネスを国際的視点をもって展開している。こうした活動は、今後の農業・食料産業連携における革新方向を示唆するものであり農業・食料産業イノベーション大賞に値する。
大賞	株式会社 パソナ農援隊	農業分野における人材育成・雇用創出サービスの事業化	これまでパソナグループが取り組んできた、「パソナチャレンジファーム」による新規就農者の独立支援、「Agri-MBA農業ビジネススクール農援隊」や「農林漁業ビジネス経営塾」による農業分野の経営力向上、全国自治体による就農支援・農業経営人材育成事業受託などの事業を継承し、農業分野における人材育成と雇用創出に関わる幅広いサービスを総合的に事業化している。こうしたサービス事業化は、今後の農業人材育成・雇用創出における革新方向を示唆するものであり、農業・食料産業イノベーション大賞に値する。
ビジネスモデル部門	有限会社 松本農園	生産情報管理システムを活用した露地野菜ビジネススキームの構築	生産情報管理システムにおいて、いち早くタッチパネル入力方式を採用するなど農作業情報収集に工夫を凝らすと共に、商品トレーサビリティ実現や経営上の無駄の顕在化などの「事業の見える化」、さらに、消費者への情報開示を実現すると共に、グローバルGAPや生産情報公表JAS規格の導入などによりステークホルダーとの信頼関係を構築している。こうしたビジネススキーム確立は、今後の土地利用型農業ビジネスモデルの革新方向を示唆するものであり、農業・食料産業イノベーション大賞ビジネスモデル部門賞に値する。